

## 新たな子ども・子育て支援制度への 取り組みは

～支援充実に調査～



みや なり あき よし  
宮 成 昭 義

**質** 幼児期の学校教育・保育を総合的に推進する新たな子ども・子育て支援制度が平成27年4月から実施され、支援体制の仕組みが大きく変わろうとしている中、本市としてどのように取り組んでいくのか。

**答** 市長

この制度では、保護者が子育ての第一義的責任を有するという基本的認識の下に、地域の子ども・子育て支援の充実などを総合的に推進することとします。

本市も、子ども・子育て関連3法の制定を受け、「市子ども・子育て会議」を発足させ、平成25年10月には第1回目の会議を開催し、実態調査を実施しています。

今後は、この実態調査の集計分析を基に、幼児期の学校教育、保育の総合的提供、保育の量的拡大と確保、地域の子ども・子育て支援の充実などについて調査審議していきます。

**質**

千歳インターや三重新殿線バイパスからの千歳支所周辺および総合グラウンドへのアクセスは分かりにくく、進入しづらいが、その進捗・整備状況は。

**答** 建設課長

市道下山・片島線の県道三重・新殿線バイパスへのインター化は、平成26年度には用地買収を行い、本工事に着手し、平成29年度を目標と考えて、現在協議を進めているところで

～平成26年度には用地買収を行う～

千歳町中心部などへのアクセス整備は

千歳支所などへのアクセス整備は、中九州横断道路高架下までの約600mについて、片側歩道付きの2車線道路に改良する工事を平成23年度に事業化し、測量設計や用地買収を進めています。

特に国道57号高架については、大型車両が通行可能な4・5層を確保する計画があり、国土交通省佐伯河川国道事務所へ委託する計画で協議を進めており、この機会に千歳町中心部への案内標識についても整備するよう強く要望していきます。





おのゆうじ  
小野 勇 治

# 転作制度の変更はどう対応するのか

～収益性の高い農業の展開を推進～

**質**

6次化により自立するとあるが、商品開発をどう進めるのか。

**答** 市長  
6次化の成功例として道の駅、あねさん工房などがあります。

**質**

今年度は、地域資源の調査・発掘作業を行い、来年度以降、市内外の新たな販路開拓を見据えた戦略を立てるとともに、大学や企業と連携を図りながら商品開発を行っていきま

**答** 市長  
安全安心・信頼などを顧客と与えるものがあり、「地域認証制度」の導入を考えています。

**質**

ブランド確立の定義とは。

**質**

各支所の空きスペースを販路開拓の計画としていますが、その展開は。

**質**

様々な機能を併せ持った多機能型直売所として利用できないか検討しています。

**質**

アジアを見据えての情報発信の展開とは。

**質**

韓国や中国を主体にした東アジアの双方向アンテナとして、福岡市にアンテナショップの設置を検討します。

**質**

野菜的推進品目の課題は。

**質**

夏秋ピーマン、白ねぎは県の統一ブランドとして、作付け面積を着実に拡大してきたところでです。

**質**

転作制度の大きな変更、どう対応するのか。

**質**

減反政策の見直しや需給状況による米の価格動向により、小規模農家や中山間地農家での影響は大きいものと考えます。

**質**

今後は、担い手への経営規模の拡大や利用集積を推進し、また、集落営農および集落営農組織の法人化も推進し、併せて経営規模の拡大に対し、国・県の補助事業などを活用し、大型機械の導入を支援していきます。

**質**

今後は、広域な選果体制の整備が課題となっております。

**質**

今後は、広域な選果体制の整備が課題となっております。



※ 地域認証制度＝市内の農産物や農産物加工品を販売する際に、安心安全などからの基準を基に認証を行いブランド化を図る制度。  
※ アンテナショップ＝企業や自治体などが自社（当該地方）製品の紹介や消費者の反応を見ることを目的として開設する店舗。